

取扱説明書

エンジン式薪割機

HG-MWR18T-R リコイル式

HG-MWR18T-E セル/リコイル式



ご使用の前に	はじめに	2
	安全にお使いいただくために	3
	主要諸元・安全ラベル	5
	各部の名称	6
	組立て	7
使い方	運転前の点検	22
	運転操作の仕方	24
	薪割り作業の操作要領	29
点検の仕方	点検・整備の仕方	33
	長期間使用しないとき	37
	故障と思ったら	38
	お客様ご相談窓口	43

はじめに

このたびは薪割機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

※誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



危険

誤った取扱いをした場合、死亡または重傷を負う可能性がある場合のご注意。



警告

誤った取扱いをした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合のご注意。



注意

誤った取扱いをしたとき、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合のご注意、及び物的損害のみの発生が想定される場合のご注意。



注意

に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

製品を長くご愛顧いただくために



取扱説明書に従った正しい取扱いや定期点検、保守を行ってください。

注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。



安全にお使いいただくために

薪割機に係る安全事項

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。・可動している部分の近くに手又は足を入れしないでください。・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上で使用ください。・正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。・成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上で使用ください。・本機の組立てや設置は2名以上で行ってください。・運転中は、排気ガスに十分注意してください。・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。・燃料がこぼれた場合は、直ちにふき取ってください。・燃料キャップは確実に締めてください。・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。・始動前点検を実施してください。・製品を搬送の際、積み込み、積み下ろしは二人以上で行ってください。



注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・指定された用途以外には使用しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・燃料はレギュラーガソリンを使ってください。・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。・部品交換は、純正部品を使用してください。・装置をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。・定期点検整備を行ってください。・子供の手の届かない安全な場所に保管してください。



安全にお使いいただくために

薪割機の作業に係る安全事項

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。・刃部分に顔や手足を近づけないでください。・衣類や髪を可動部に近づけないでください。巻き込まれる可能性があります。・ご使用時は、子ども、動物、ペットを近づけないようご注意ください。・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。・足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。・2名以上で薪割り機を操作しないでください。・使用中に異常が発生した場合は、速やかにエンジンを停止し、異常原因を調べてください。損傷があった場合には、完全に補修した後でなければ薪割り機を再始動しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・本体はしっかりとした硬い地面もしくは、下に鉄板などを敷いた水平な場所に設置してください。・騒音から耳を守る為、適切な保護具を使用してください。・装置から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。・割った木につまづかないように、機械の周辺は整理してください。・作業は、十分な採光のもとで作業してください。・ご使用前には各部のネジ類がしっかり締まっているか確認してください。・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。

注意

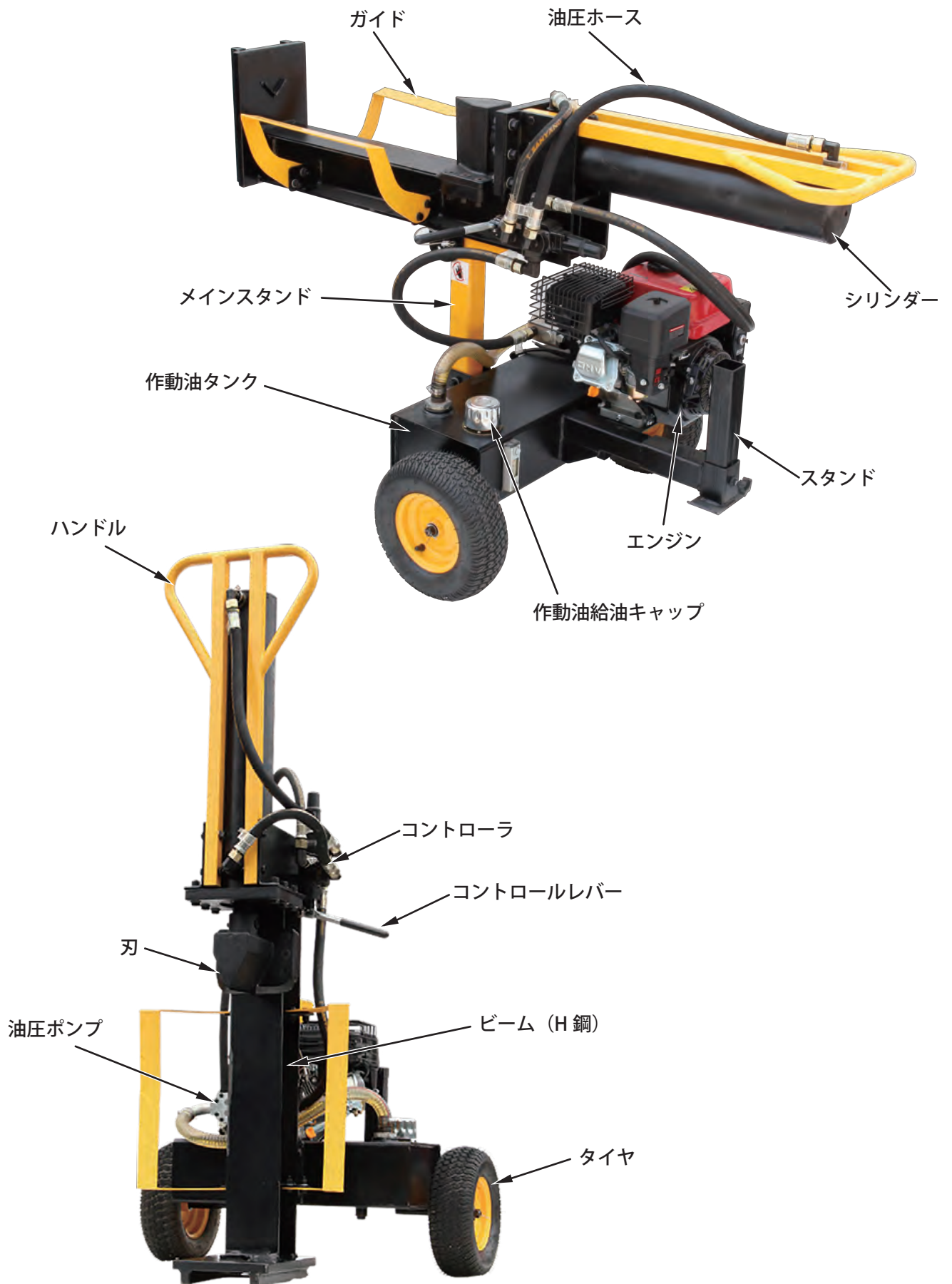
 禁止	<ul style="list-style-type: none">・機械の稼働部分に絡まるような衣服は着用しないでください。・エンジンがかかっている状態で本製品から離れないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・すべりにくい靴、手袋、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。・装置を長時間保管するときは、取扱説明書にしたがって保管してください。・シートカバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。・定期点検整備を行ってください。

主要諸元

モデル名	HG-MWR18T-R	HG-MWR18T-T
始動方式	リコイル式	セル/リコイル式
粉砕力	18トン	
サイクルタイム	オートリターン15秒	
最大薪割り長さ	550mm	
薪割り可能	丸太直径 300mm	
薪割り方向	縦&横	
ウェッジ(刃)	単刃	
総排気量	6.5HP 196cc	
型式	空冷4サイクル	
燃料	無鉛レギュラーガソリン	
燃料タンク容量	3.2L	
オイルタンク容量	ガソリンエンジン用オイルを600ml 粘度10W-30	
作動油流量	8.8/2.1L	
作動油	#32 18L	
オイルポンプ圧	21Mpa	
質量	178kg	
サイズ	1630mm × 830mm × 970mm	

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

各部の名称



組立て

⚠ 注意







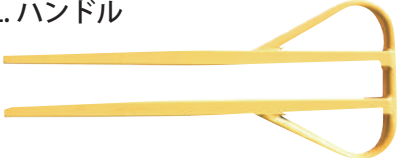


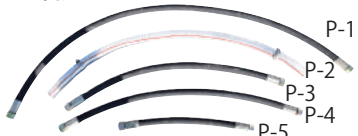


- ・取扱説明書をよく読んで正しく取付けてください。
- ・作業は、自身や周囲の確認をしながら安全に行ってください。
- ・組立ては2人以上で行ってください。
- ・重量物の運搬は、2人以上で行ってください。
- ・組立て時は、手袋、長袖シャツなどの保護具を使用してください。
- ・平坦で固い地面の上で組立て作業を行ってください。

●梱包部品一覧表

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取り出し、すべてが完全であることを確認してください。
 2. 装置を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。
 3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。
- 不足している場合は、お手数ですがハイガー産業株式会社までご連絡ください。

⚠ 警告

- ・不足しているものがある場合は、不足している部品を交換するまで使用しないでください。

A. シリンダ 	B. 作動油タンク 	C. 油圧ポンプ 	D. 油圧ポンプカバー 
E. メインスタンド 	F. バッテリ 	G. タイヤ止め 	H. タイヤ 
I. ガイド 	J. プラグレンチ  <p>※ J-2 J-3 キーブロック</p>	K. スタンド 	L. ハンドル 
M. 作動油タンクキャップ 	N. 割りピン 	O. スタンド 	R. エンジンキー 
P. 油圧ホース  <p>P-1 P-2 P-3 P-4 P-5</p>	Q. 工具  <p>Q-1 Q-2 Q-3 Q-4 Q-5 Q-6 Q-7 Q-8</p>	S. コントローラ 	

※J-3はこのタイプでは、使用しません。

組立て

●タイヤの取付け

作動油タンクに、タイヤを取付けます。

■使用工具：付属の19mmスパナ・モンキーレンチ

- 1 作動油タンクのタイヤシャフトからナット、ワッシャを取外します。



- 2 取り外したシャフトにタイヤを挿入し、ワッシャ、ナット、割りピンの順で取付けます。

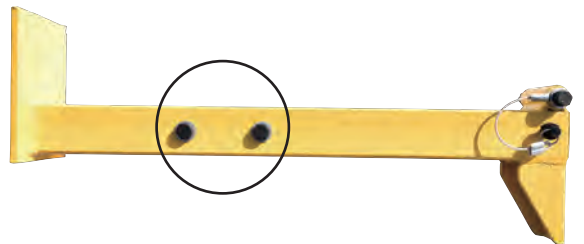


●メインスタンドの取付け

作動油タンクに、メインスタンドを取付けます。

■使用工具：18mmレンチ、モンキーレンチ

- 1 メインスタンドに仮止めしている2組のボルト、ワッシャ、ナットを外します。



- 2 作動油タンクにメインスタンドを取付けます。



- 3 一旦外したワッシャにボルトを通し、反対側からワッシャ、スプリングワッシャ、ナットの順で通して、しっかり締めます。



組立て

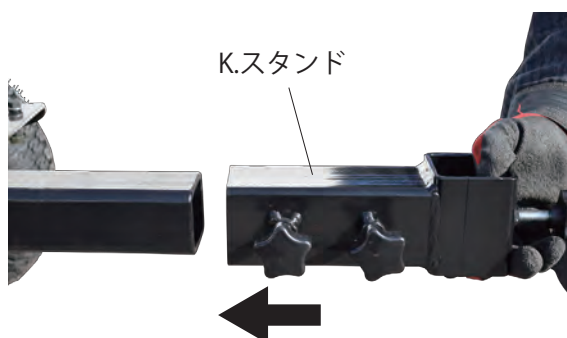
- 4** 反対側からワッシャ、スプリングワッシャ、ナットの順で通して、しっかり締めます。



●スタンドの取付け

作動油タンクに、スタンドを取付けます。

- 1** 作動油タンクのフレームに、K.スタンドをはめます。



K.スタンド



- 2** 2カ所の固定ネジを締めます。



- 3** K.スタンドにO.スタンドを挿入します。



O.スタンド

- 4** 本体が水平になるよう、O.スタンドを上下にスライドさせ、固定ネジでしっかり固定します。



固定ネジ

組立て

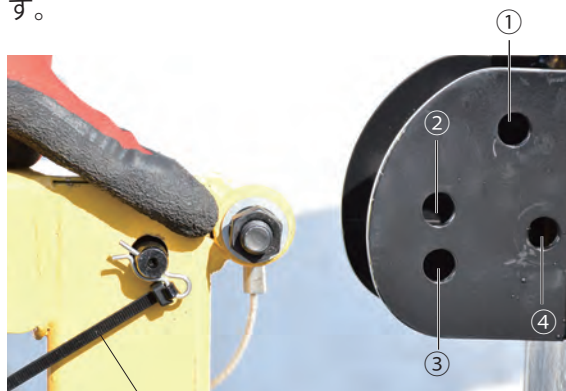
●シリンダの取付け

シリンダをメインスタンドに取付けます。

- 1** シリンダを立てます。



- 2** メインスタンドに仮止めしているボルト、ワッシャ、スプリングワッシャ、ナットを外します。



ピンロックに結束バンドを事前に取り付けておくことで紛失防止になります。
また、抜き差しが楽になります。

①と②の穴は、固定ピンを挿入する穴で、④の穴は固定ボルトを挿入する穴です。
②の穴は使用しません。



- 3** ピンロックを外し、固定ピンを抜きます。



- 4** シリンダ取付穴とメインスタンドの取付穴を合わせ、一旦抜いたボルトを差込みます。



- 5** ④の穴にボルトを通し、ボルトをレンチで固定しながら、ナットをもう一本のレンチで締付けます。



組立て

- 6** 固定ピンを③の穴に差込み、ピンロックで固定します。



- 7** シリンダ下部に仮止めしている6カ所のボルト、ワッシャ、ナットを外します。



- 8** 固定ピンを外します。



- 9** シリンダを縦位置から横位置に動かします。



- 10** 固定ピンを差込み、ピンロックで固定します。
この状態は、重量バランスが取れていないので、手を離すと本体が倒れます。2人でしっかり支えてください。

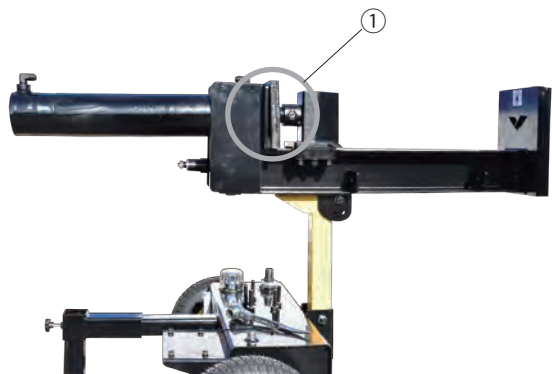


- 11** シリンダを左側にスライドさせます。
この作業は、必ず2人以上で行ってください。



組立て

- 12** **7**で外したボルト、ワッシャ、ナットを①部分に取付けます。



- 13** 6カ所のボルト・ナットをレンチで確実に締付けます。



- 14** シリンダの組立て完了です。

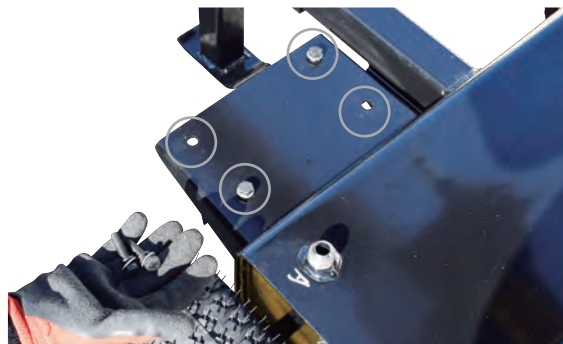


●エンジンの取付け

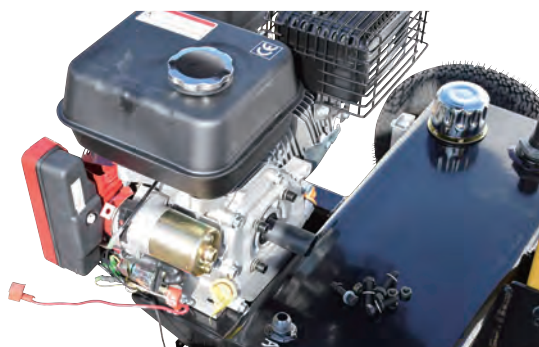
エンジンを作動油タンクに取付けます。

■使用工具：付属の13mmスパナ・モンキーレンチ

- 1** 作動油タンクに仮止めしているボルト、ワッシャ、スプリングワッシャ、ナットを外します。



- 2** エンジンを作動油タンクのスチーに乗せ、取付穴を合わせます。



- 3** ボルトにワッシャを通し、下から取付穴に差込みます。



組立て



- 4** ワッシャ、スプリングワッシャ、ナットの順で4カ所取付けます。



- 5** 4カ所すべてのボルト・ナットを締付けます。

●ハンドルの取付け

シリンダにハンドルを取付けます。

■使用工具：付属の16mmレンチ・モンキーレンチ

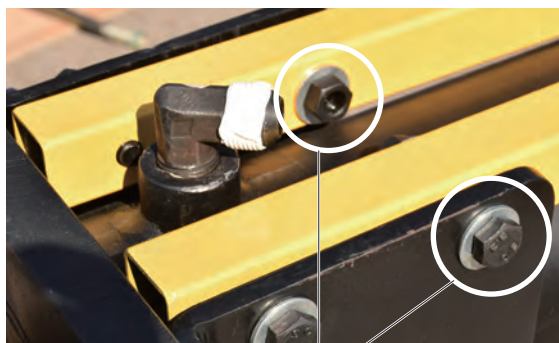
- 1** シリンダ上部のハンドル取付けボルト・ワッシャ、ナットを一旦外します。



- 2** シリンダ上部のハンドルをセットします。



- 3** 取付け穴4カ所に外側からボルトを通し、内側から2カ所ワッシャ、ナットを取付け、2カ所のみ先に締付けます。



この2カ所を先に締付けます

- 4** 残りに2カ所にワッシャ、ナットをはめ、絞めつけます。



組立て

●油圧ポンプの取付け

エンジンに油圧ポンプを写真の向きに取付けます。



■使用工具：付属の六角レンチ・プラスドライバー

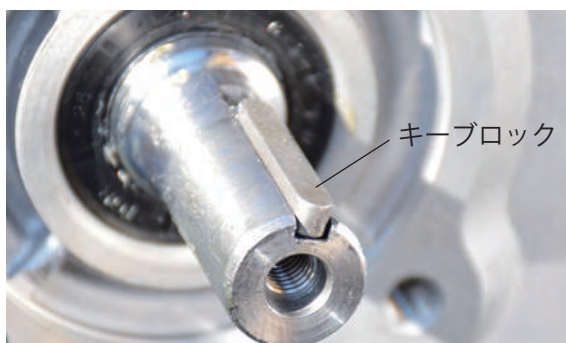
- 1** エンジンシャフトの保護カバーを取除きます。



- 2** エンジン側の仮止めしている六角ボルトを4本とも外します。



- 3** エンジンシャフトの溝に、キーブロックをはめます。リコイルスターターをゆっくり引くことで、溝を上にすることができます。



- 4** 油圧ポンプをエンジンシャフトにはめます。その際、エンジンシャフトの溝と油圧ポンプカプラの溝が合うようにカプラ回転させます。



- 5** エンジンシャフトの溝にはめたキーブロックが、写真のように少し見えるようにします。



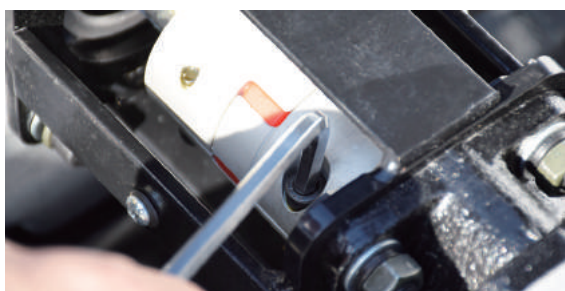
- 6** 油圧ポンプを、一旦外した六角ボルトでエンジンに軽く固定します。



組立て

7 エンジンシャフトと油圧ポンプの芯が一致するようリコイルスターターを数回引き、その後、六角ボルトを増し締めします。

8 カプラの前後を六角レンチで締付けます。



9 プラスドライバーで、一旦ネジを外します。



10 油圧ポンプカバーを取付け、ネジを締めます。



●コントローラ取付け

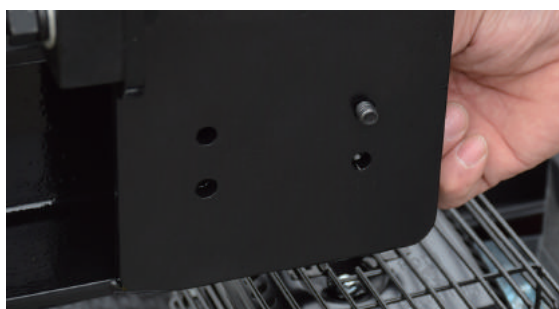
油圧ホースを取付けます。

■使用工具：付属の13mmスパナ

1 コントローラのボルト、ワッシャ4カ所を一旦外します。



2 本体の取付穴に、内側からボルトにワッシャを通し挿込みます。



3 コントローラを固定します。

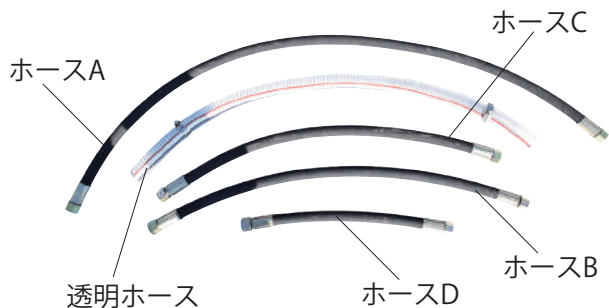


組立て

●油圧ホースの取付け

油圧ホースを取付けます。

■使用工具：付属のモンキーレンチバー



- 1** 油漏れを防止するため、市販のシールテープを事前に巻くことをおすすめします。2巻き程度で十分効果が得られます。



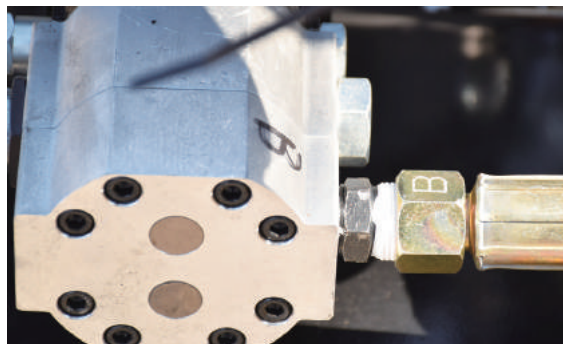
- 2** コントローラのAにホースAを繋ぎます。



- 3** 作動油タンクのAにホースAを繋ぎます。



- 4** 油圧ポンプBにホースBを繋ぎます。



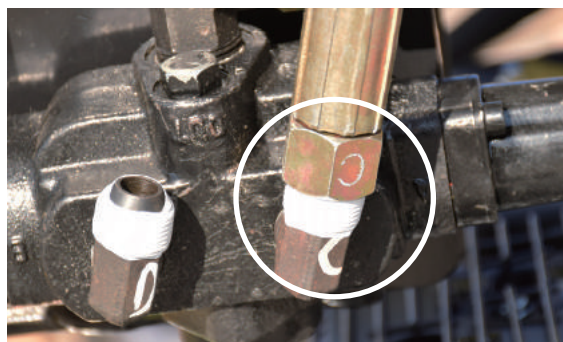
- 5** コントローラのBにホースBを繋ぎます。



- 6** シリンダCにホースCを繋ぎます。



- 7** コントローラのCにホースCを繋ぎます。

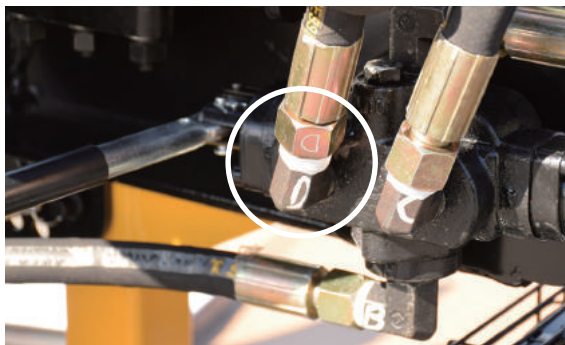


組立て

- 8** シリンダDにホースDを繋ぎます。



- 9** コントローラのDにホースDを繋ぎます。



- 10** 各ホースを付属のモンキーレンチ等で確実に締付けます。

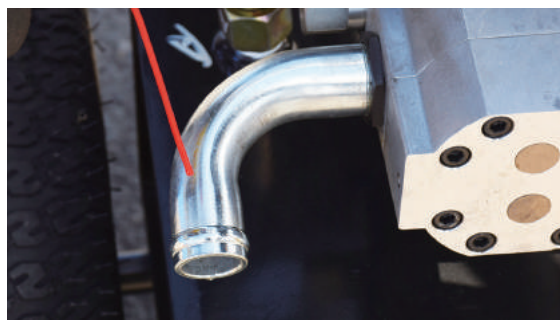


●作動油リバーシホースの取付け

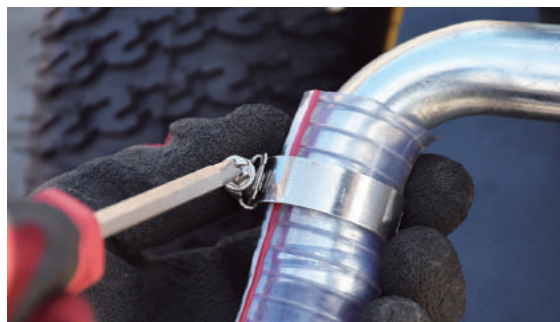
作動油リバーシホースを取付けます。

■使用工具：付属のプラスドライバー、潤滑油

- 1** 油圧ポンプに透明なホースを取付けます。その際、挿入しやすいようにホースの内側と油圧ポンプ接続部に、潤滑油を吹付けます。



- 2** ホース固定金具をプラスドライバーで締付けます。



- 3** 写真のように、ホースを通します。

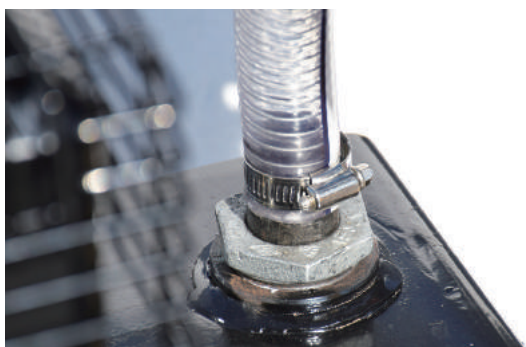


組立て

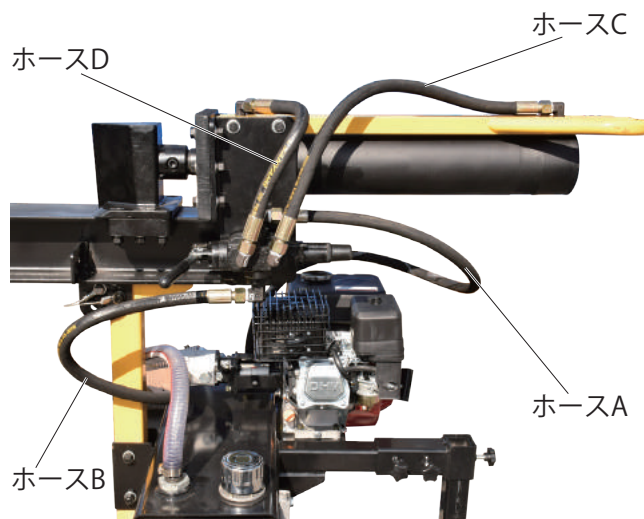
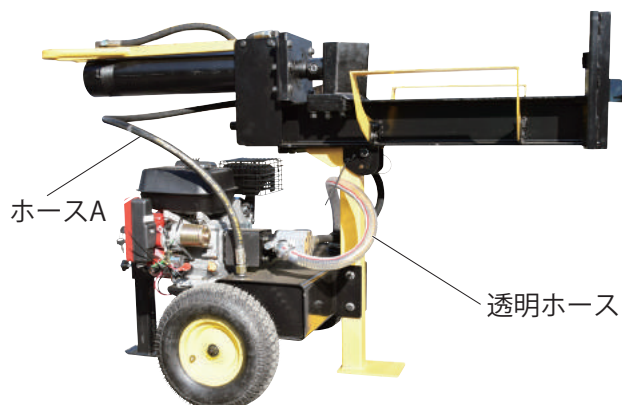
- 4** 作動油タンクに透明なホースを取付けます。その際、挿入しやすいようにホースの内側と作動油タンクのホース接続部に、潤滑油を吹付けます。



- 5** ホース固定金具をプラスドライバーで締付けます。



- 6** 写真を見てホースの繋ぎ間違いがないか確認してください。
また、全てのホースが確実に取付けられているか確認してください。



●コントロールレバーの取付け

レバーをコントローラに取付けます。

■使用工具：プライヤ

- 1** コントローラに仮止めしているピンを一旦抜きます。

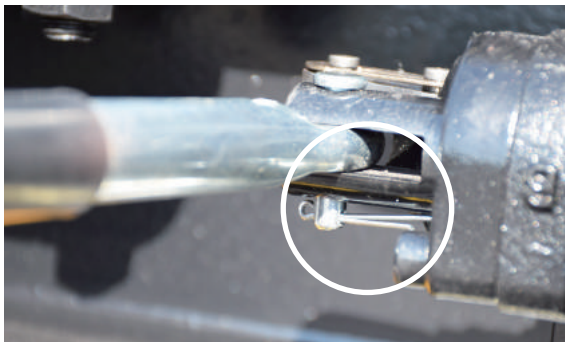


組立て

- 2** レバーの取付け穴とコントローラの取付け穴を一致させ、ピンを挿入します。



- 3** 割りピンを差込み、プライヤで先端を折り曲げ抜けないようにします。

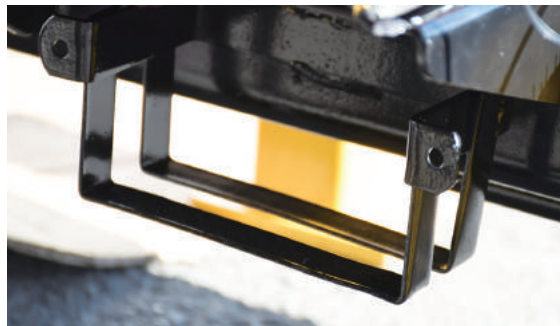
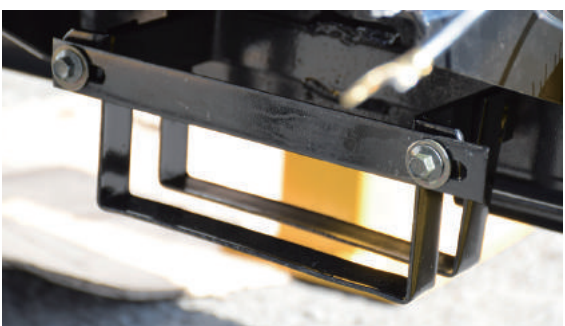


●バッテリーの取付け (HG-MWR18T-E のみ)

バッテリーを作動油タンクに取付けます。

■使用工具：8mmレンチ2個

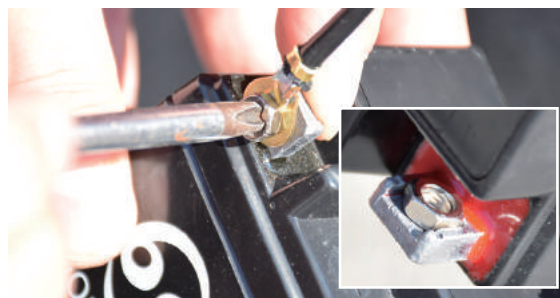
- 1** バッテリスターを一旦外します。



- 2** バッテリーの端子の取付け面が赤く塗装されている側がプラスです。



- 3** バッテリーの端子のネジを一旦外します。配線端子をネジに通し、裏側のナットを押しえながら締付けます。



- 4** 赤いキャップを端子にかぶせます。



組立て

5 バッテリーをバッテリーホルダーに乗せます。



6 バッテリスターを取付けます。

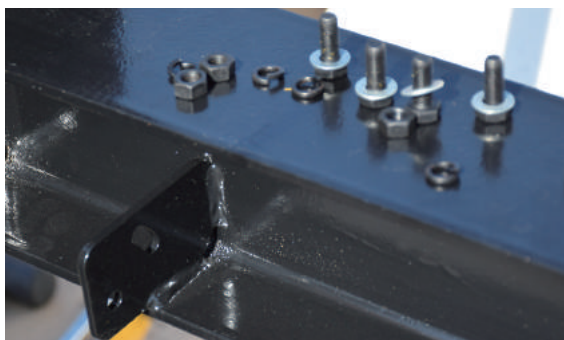


●ガイドの取付け

ガイドをH鋼に取付けます。

■使用工具：16mmレンチ、付属のモンキーレンチ

1 ガイドに仮留めされているボルトを外します。



2 H鋼にボルト4本で取付けます。



●作動油の給油

作動油タンクに作動油を給油します。

1 作動油タンク上部のキャップを取外し、オイルジョッキ等で作動油（油圧用オイル32番）を給油します。

容量はおおよそ15Lです。



組立て

警告

- ・運転中、またはエンジンがまだ熱い時に、ガソリンを注入しないでください。
- ・ガソリンの給油は室外で行ってください。
- ・点検、整備を行うときは、エンジンを停止してください。
- ・火気を近づけないでください。
- ・静電気を除去してから給油してください。
- ・燃料はこぼさないように補給してください、万一こぼれたときは完全にふき取ってください。
- ・燃料は注入口の口元まで入れずに、給油限界位置を超えないように補給してください。

注意

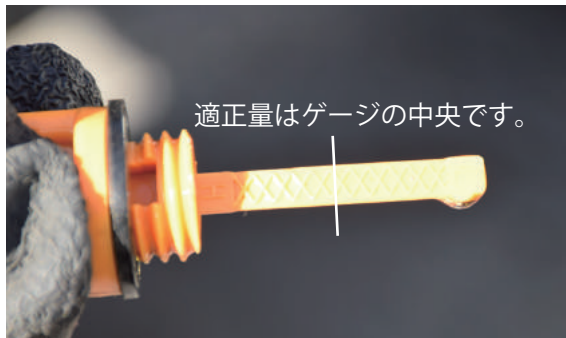
- ・補給時、燃料タンク内に水、雪、氷が入らないように注意してください。
- ・ハイオクガソリンは使用しないでください。

●エンジンオイルの給油

エンジンにエンジンオイルを給油します。

- 1 オイルキャップを外し、エンジンオイルを給油します。

容量はおおよそ600mlですが、工場でテスト運転をしているため、若干オイルが残っている場合がありますので、ゲージで確認しながら、少しずつ給油してください。



- 2 給油後は、確実にキャップを締めます。

推奨オイル	4サイクルガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30 ・寒冷地は5W-30 ・極寒冷地は10W-30
オイル容量	600ml

●燃料の給油

無鉛レギュラーガソリンを給油します。

- 1 燃料タンクのキャップを開け、ガソリン（無鉛レギュラーガソリン）を給油します。
容量はおおよそ3.2Lです。



- 2 給油後は、確実にキャップを締めます。

運転前の点検

警告



禁止

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。



指示

- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。
- ・燃料キャップは確実に締めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のない所に保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内にホコリや水が入らないように注意してください。

注意

エンジンオイルの量は適切な値に保ってください。エンジンの故障の原因になります。上限を超えるとエンジンがかからなくなります。少ないと、エンジンの焼付けを起こします。

●燃料の点検・補充

使用燃料	自動車用無鉛ガソリン（レギュラーガソリン）
燃料タンク	3.2L

燃料（無鉛ガソリン）の量を点検します。

■点検手順

- 1 燃料タンクキャップを外し、液面を見て残量を確認します。



- 2 少ないときは上限の位置まで補給します。

- 3 補給後、給油キャップを確実に閉めます。

●エンジンオイルの点検

エンジンオイルの量、よごれを確認します。

■点検手順

- 1 本体を水平な場所に移動させ、オイル給油キャップを外します。



- 2 オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)にあるか点検します。



運転前の点検

推奨オイル	4サイクルガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30 ・寒冷地は5W-30 ・極寒冷地は10W-30
オイル容量	600ml

●作動油の点検・補充

作動油量を点検します。

- 1 作動油量がゲージの中央より上にあるか点検します。



- 2 作動油が少ない場合は、タンク上部のキャップを取外し、オイルジョッキ等で作動油（油圧用オイル32番）を給油します。



使用作動油	油圧用オイル32番
作動油タンク	20L

●タイヤの点検

タイヤのパンクは、重大な人身事故を引き起こす恐れがありますので、十分にご注意ください。

- 1 目視にて破損や亀裂が無いかを確認します。パンク、亀裂が見つかった場合は、修理または新品と交換してください。



- 2 タイヤの空気圧を確認します。空気圧は1.5kgf/cm² (150kpa) になります。



運転操作の仕方

警告



禁止

- ・燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので高温部に触れないでください。



指示

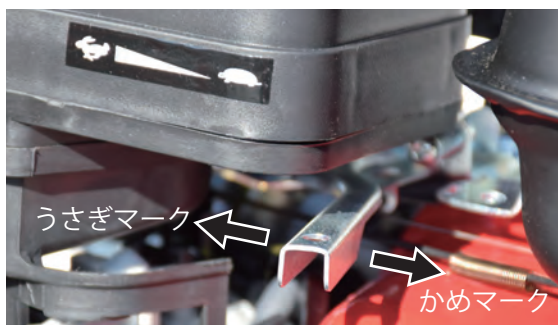
- ・本体はしっかりとした硬い地面もしくは、下に鉄板などを敷いた水平な場所に設置してください。
- ・硬い地面もしくは、下に鉄板などを敷いた状態で作業を行ってください。
- ・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- ・装置から離れるときは必ずエンジンを停止してください。
- ・少しの移動でもエンジンを停止してください。

注意

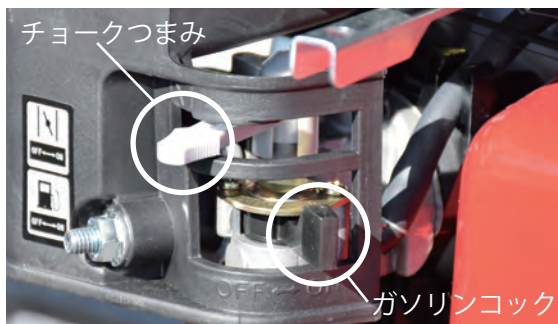
- ・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

●エンジンのかけ方

- 1 アクセルレバーを、うさぎマークとかめマークの中心にします。



- 2 チョークつまみを左いっぱいにし、ガソリンコックを右いっぱい(ON)にします。



HG-MWR18T-R(リコイル式)

- 1 エンジンスイッチをONにします。



- 2 リコイルスターターを引きます。



- 3 エンジンがかかったら、チョークつまみを右に戻します。

- 4 そのまま暖気運転を行い、運転状況を確認します。

運転操作の仕方

HG-MWR18T-E(セル / リコイル式)

- 1 セルスターターのキーを ON にします。
さらに、START 位置にすることでエンジンがかかります。(自動車のエンジンキーと同じです。)



- 2 エンジンがかかったら、チョークつまみを右に戻します。



- 3 そのまま暖気運転を行い、運転状況を確認します。

HG-MWR18T-E は、万が一、バッテリーが上がってしまった場合、リコイルスターターでエンジンを始動することができます。

- 1 セルスターターのキーを ON にします。



- 2 リコイルスターターを引きます。



- 3 エンジンがかかったら、チョークつまみを右に戻します。

- 4 そのまま暖気運転を行い、運転状況を確認します。

●エンジンの止め方

- 1 HG-MWR18T-T は、エンジンスイッチを OFF にします。
HG-MWR18T-E は、セルスターターキーを OFF にします。

- 2 ガソリンコックを左いっぱい(OFF)にします。

運転操作の仕方

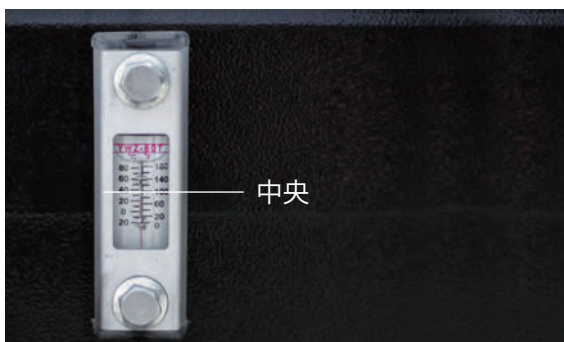
●作動油の追加給油

エンジンをかけると作動油が循環し、油圧システム全体に行き渡るため、作動油タンク内の作動油が減少しますので、作動油を追加給油します。

- 1 作動油ゲージを見ながら、作動油を追加給油します。



- 2 ゲージの中央より上に来るようにします。おおよそ3Lの追加となります。組立て時におおよそ15Lを給油していますので、作動油量の合計は、おおよそ18Lとなります。



使用作動油	ハイドロリックオイル 油圧用オイル32番
作動油量	15L(エンジン始動後に3L追加) 合計で18L

●潤滑油やグリスの塗布

可動部部分には、使用前に潤滑油やグリスを塗布する習慣をつけましょう。(詳細は、P.35参照)

●コントロールレバーの操作方法

薪割りの操作は、コントロールレバーで行います。

- 1 コントロールレバーを下降(前進)方向に倒すと、刃も前進します。コントロールレバーから手を離すと、レバーはニュートラルの位置に戻り、刃はその状態で停止します。



- 2 コントロールレバーを下降(前進)方向に倒し続け、刃が台座より、約4cmまで近づくと刃の下降(前進)は自動的に停止します。



- 3 コントロールレバーを上昇(後進)方向に倒すと、刃も上昇(後進)します。コントロールレバーから手を離しても、刃は上昇(後進)を続け、最大上昇(後進)地点で停止します。



- 4 刃の後進動作を中断させるときは、操作レバーをニュートラルにします。刃は後進動作を停止します。

運転操作の仕方

警告

- 本体はしっかりとした硬い地面もしくは、下に鉄板などを敷いた水平な場所に設置してください。
- 硬い地面もしくは、下に鉄板などを敷いた状態で作業を行ってください。
- 万が一薪割り機が動き出すのを防ぐため、タイヤは常に輪止めなどで固定してください。

●シリンダを立てる操作

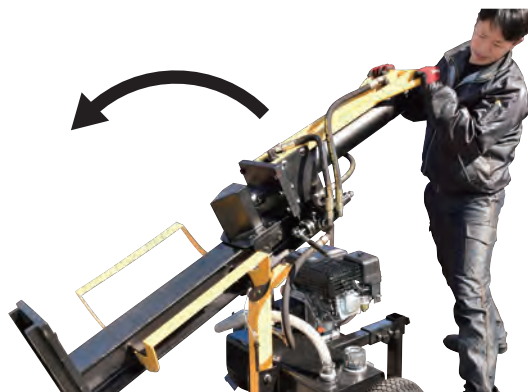
- 1 タイヤに輪止めをしセットします。



- 2 メインスタンドとシリンダをとめている固定ピンを引抜きます。



- 3 ハンドルを持ち上げ、ゆっくり起こしていきます。
ハンドルの移動に合わせて、支えている体も少しずつ移動させます。
ハンドルを約45°まで起こした後は、ハンドルが跳ね上がる向きに力が変わるので、ハンドルを押さえるような体制をとります。



- 4 シリンダが直立するまでゆっくり起こします。



- 5 メインスタンドとシリンダをとめている固定ピンを差込み、ピンロックで固定します。

運転操作の仕方

警告

- 本体はしっかりとした硬い地面もしくは、下に鉄板などを敷いた水平な場所に設置してください。
- 硬い地面もしくは、下に鉄板などを敷いた状態で作業を行ってください。
- 万が一薪割り機が動き出すのを防ぐため、タイヤは常に輪止めなどで固定してください。

● シリンダを横にする操作

- 1 タイヤに輪止めをしセットします。



- 2 メインスタンドとシリンダをとめている固定ピンを引抜きます。



- 3 ハンドルを押下げ、ゆっくり倒していきます。ハンドルの移動に合わせて、支えている体も少しずつ移動させます。ハンドルを約 45° まで倒した後は、ハンドルが跳ね上がる向きに力が変わるので、ハンドルを押さえるような体制をとります。



- 4 シリンダが水平になるまでゆっくり倒します。



- 5 メインスタンドとシリンダをとめている固定ピンを差込み、ピンロックで固定します。

薪割り作業の操作要領

警告

- ・安全注意事項に注意しながら薪割り機を操作してください。
 - ・エンジン回転中には絶対に薪割り機を離れないでください。
 - ・エンジン回転中には薪割り機を移動しないでください。
 - ・商品荷降し及び開梱の際は十分に気を付け下さい。商品本体及び各部パーツは非常に重いため、フォックリフトフォークリフトなどの運搬道具を使って行ってください。
 - ・安全靴を履いてください。
 - ・保護メガネも忘れずにかけてください。
 - ・作業のしやすい服を着用してください。ネックレス、不適切な服装などは薪割り機の稼動部分に巻き込まれやすいため危険です。
 - ・本体はしっかりとした硬い地面もしくは、下に鉄板などを敷いた水平な場所に設置してください。
 - ・硬い地面もしくは、下に鉄板などを敷いた状態で作業を行ってください。
 - ・万が一薪割り機が動き出すのを防ぐため、タイヤは常に輪止めなどで固定してください。
 - ・長い薪は割る前に適切な長さに切ってください。
 - ・昼間または視界の良い明るいところで作業してください。
 - ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。
-
- ・ガソリンが蒸発しやすく、非常に燃えやすいため、ガソリンの保管及び使用は十分に気を付けてください。
 - ・ガソリン補給時に手及び作業服に付いた場合は、すぐ水で洗ってください。
 - ・密閉した部屋でガソリン補給はしないでください。
 - ・エンジン運転中、またはストップ直後に温度まだ高い場合にガソリン補給はしないでください。
 - ・エンジンをストップしてから少なくとも5分間以上を経ってから、ガソリン補給を行ってください。
 - ・燃料タンク容量以上にガソリン補給はしないでください。
 - ・燃料タンクキャップを常にしっかりと締めてください。
 - ・ガソリンが地面に漏れた場合は、薪割り機表面のガソリンをきれいに拭いて、他の所に薪割り機を移動して、5分待ってから作業スタートしてください。
 - ・ガソリン保管は火気、電気機械、燃えやすい物と離れて保管してください。

●試運転

- 1 運転操作のしかたを十分理解してください。
- 2 運転前の点検をしてください。
- 3 薪割り作業の操作要領を十分理解してください。
- 4 警告事項を読み必ず守ってください。
- 5 本体はしっかりとした硬い地面もしくは、下に鉄板などを敷いた水平な場所に設置し、タイヤに輪止めをかけてください。
- 6 P.24 の運転操作の仕方にしたがってエンジンを始動します。
- 7 ①のボルトがガイドに干渉しないか慎重にゆっくり動かし確認します。万が一、干渉するようであればガイドのボルトを緩め調整します。



- 8 油圧システム中の気泡を排出させるため、コントロールレバーで刃を最上限から最下限まで移動させ、この動作を15回繰り返します。これにより、作動油が油圧システム全体に均等に行き渡ります。作動油量をゲージで確認し、少ない場合は、P.26の作動油の追加給油を参考に追加給油します。
- 9 各部からの油もれを点検します。オイルのにじみは、にじみが進行しない範囲であれば問題ありません。
- 10 各部のネジの緩みを点検し、緩みがあれば増し締めを行います。

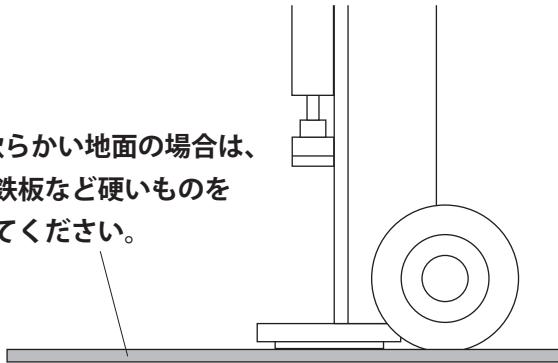
薪割り作業の操作要領

●薪割り操作

本体はしっかりとした硬い地面もしくは、下に鉄板などを敷いた水平な場所に設置し、タイヤに輪止めをかけてください。

不安定な場所や軟らかい地面で作業を行いますと、H鋼や台座に異常な負荷がかかり、破損事故が起こることがあります。保証対象外になりますので、十分に注意ください。

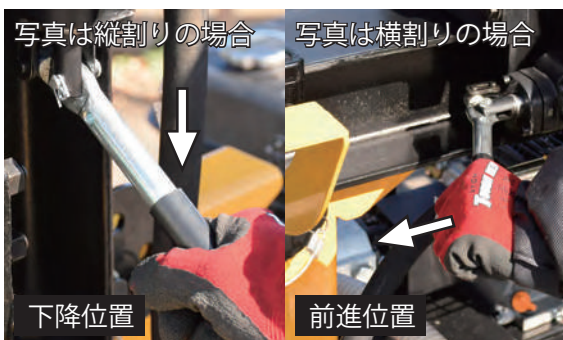
注)軟らかい地面の場合は、必ず鉄板など硬いものを敷いてください。



- 1** 玉を本体に置きます。
玉が台座よりはみ出る場合は、同じ高さの台を用意し、玉が安定するようにします。



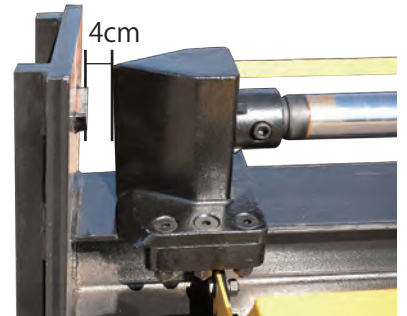
- 2** コントロールレバーを刃が出る方向へ倒すと、その間刃が動き玉を割ります。



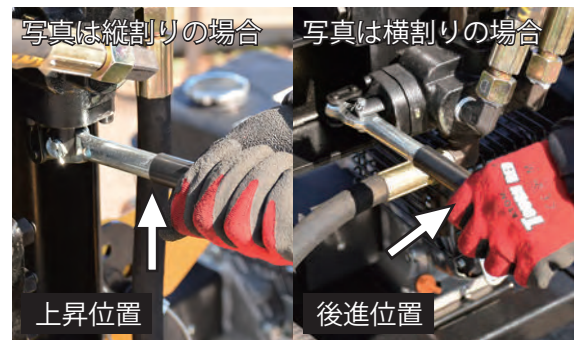
- 3** 薪が割れたところでコントロールレバーから手を離すと、コントロールレバーはニュートラルに戻り、刃の下降（前進）は止まります。



- 4** コントロールレバーを倒し続けても、刃が台座から約4cmの位置で自動的に停止します。



- 5** コントロールレバーを、刃が戻る方向に倒すと刃が戻り始めます。



- 6** コントロールレバーから手を離しても刃は戻り続け、ピストンがシリンダに格納された時点で停止します。



薪割り作業の操作要領

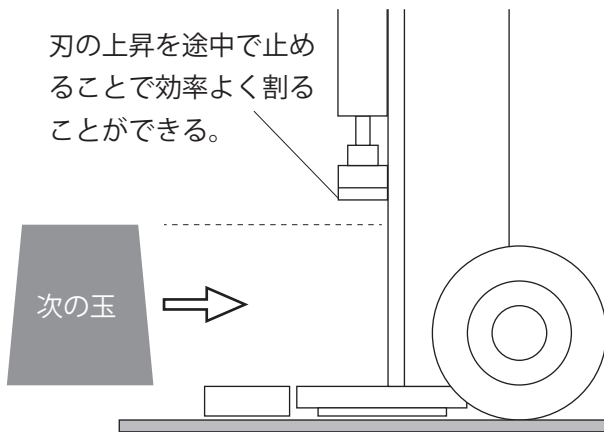
警告

- ・玉を薪割機にセットするときは、常に玉の切断面ではなく、側面を持つ習慣を付けてください。
- ・足や手で玉を固定し、薪割り作業の操作をしないでください。圧力が非常に大きいため、重傷を負う可能性があります。
- ・玉を置く人が薪割機を操作してください。
- ・一回に二つの玉を同時に割ることはしないでください。
- ・玉にヒビ入っているところに絶対に指を置かないでください。

注意

- ・もし割れない場合、3秒以上加圧し続けしないでください。それ以上、加圧し続けると、装置に大きな力が加わり、シリンダが損傷やH鋼（ビーム）が湾曲する恐れがあります。万一故障した場合は、保証の対象外となります。

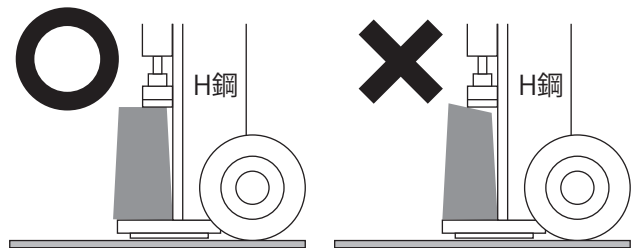
7 効率的に玉を割るには、次に割る玉の高さまで刃が戻ったところで、コントロールレバーを離しニュートラルにし、刃の上昇を止め、次の玉を置きコントロールレバーを倒します。この作業を繰り返すことで、スピーディーに玉を割ることができます。



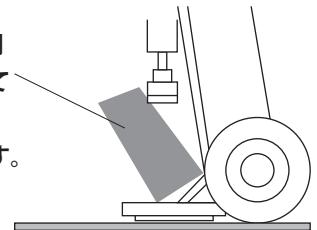
●快適に薪割りを行うために

- 玉切り直後で木口が湿っている間が割りやすく、乾くと割りにくくなっていきます。
- 節がある場合は、刃に節があたらないように玉を置く位置をずらします。

■硬い玉を割るときは、木口が、刃部の全面に均等に当たるように置きます。

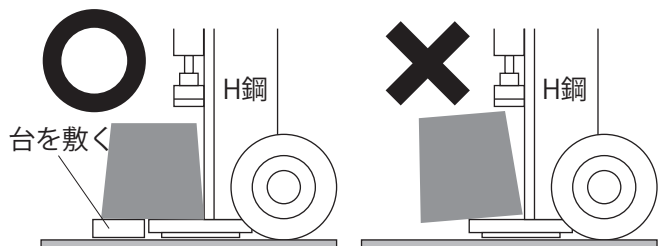


注)油圧の力が玉をH鋼（ビーム）側に押し当ててしまい、H鋼（ビーム）を簡単に曲げてしまいます。

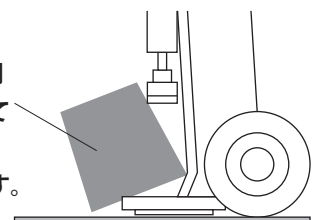


■縦姿勢で玉を割る時には、玉が揺れないようしっかり置きます。もしも玉が台座よりはみだし不安定な場合は、台座と同じ高さの台を敷き、安定させてから作業を行ってください。

注)不安定なまま作業を行うと、H鋼（ビーム）に思わぬ負荷がかかり、H鋼（ビーム）を曲げてしまいます。



注)油圧の力が玉をH鋼（ビーム）側に押し当ててしまい、H鋼（ビーム）を簡単に曲げてしまいます。



薪割り作業の操作要領

●回路保護装置(CIRCUIT PROTECTOR)のボタンが出たときの対処方法

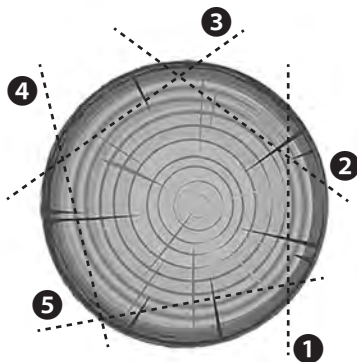
HG-MWR18T-Eセル/リコイル式では、電気系統の異常や過電流等で負荷がかかった場合に、回路保護装置(CIRCUIT PROTECTOR)のボタンが出ることがあります。その場合は、ボタンを押込んでください。再度ボタンが出る場合は、電気系統の異常が原因と考えられます。メーカーか販売店にお問い合わせください。



☞ 径の大きい玉の割り方

本来玉は端から割っていきます。なぜ中心からではないかと言いますと、中心は木の繊維が広い面積でくっつきあっていて最も強い部分だからです。少ない力で効率的に割るためには、狭い面積でくっつきあっている弱い部分(木の端)に刃を入れればよいわけです。

外側から削ぐように割っていき、中心へと進めていきます。



☞ 木は乾燥する前に割る

木は、切り出された瞬間から水分が抜けて乾燥していき、乾燥しているほど、強度が上がります。

このことから、特に広葉樹は、切って時間をおかずに、薪割りをした方が楽に割れるということになります。

針葉樹、特にスギやヒノキなどは乾燥していても楽に割れます。

☞ 薪ストーブに最適な樹種

広葉樹の中でも堅木のミズナラ・クヌギ・ニレ・カシ・リンゴ・カバ・サクラ・ケヤキなどが適しています。

広葉樹は堅くて火持ちがよく薪にしたときに煤(すす)が出にくいからです。

針葉樹の場合は軟木のスギ・ヒノキなどが良いとされます。

アカマツは非常にヤニが多いため、薪には適しません。

☞ 薪はなぜ割る？ なぜ乾燥させる？

薪は、割ることで乾燥しやすくなり、火付き・火持ちがよくなります。

乾燥していない薪は、火力が上がりません。

それは薪に残っている水分が蒸発してから薪が燃えるためです。

まず蒸発にエネルギーが奪われ、その分の熱は暖房に利用できないからです。

立ち木の含水率は50%以上で、薪ストーブに使う薪の最適な水分量は15%~20%前後です。専用の機器で水分量を量ることをおすすめします。

点検・整備の仕方

警告

- 油圧ポンプは非常に高い圧力を持っているため、衝撃などの原因によりヒビ、小穴などを起こした場合は、高圧力のオイルが噴出し、使用者が死亡または重傷を負う可能性がありますので、以下の操縦注意事項を常にご注意ください。
 - 裸手で直接機械パイプなどの検査をおやめください。
 - ホース、チューブ、接続具に摩耗、曲れ、ヒビ、ダメージなどがあつた場合は、必ず使用を停止してください。
 - ホース、チューブ、接続具など機械各部のパーツを交換調整するときは、必ず先にエンジンを停止してから行ってください。
 - ポンプ、またはバルブを調整し、薪割機の圧力を調整するのは絶対におやめください。
- 漏れ検査するときは、保護手袋、保護メガネをかけて、カートンボックスなどを使って、漏れと疑われるところに置いて、変色、汚れがあるかを検査してください。
- 万が一、漏れ油圧で負傷した場合、迅速・適切に医師の診断を受けてください。
- 作業場の清潔、安全を常に確保してください。足を引っかける一切の障害物を撤去してください。
- 薪割機の作業場には必ず清潔、安全を守ってください。木材、ガラス、燃料など燃えやすい物は必ず離して保管してください。
- エンジンキーを抜き安全を確保し作業を行ってください。
- 作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
- 本体はしっかりとした硬い地面もしくは、下に鉄板などを敷いた水平な場所に設置してください。
- 硬い地面もしくは、下に鉄板などを敷いた状態で作業を行ってください。
- 万が一薪割機が動き出すのを防ぐため、タイヤは常に輪止めなどで固定してください。
- 作業は、十分な採光のもとで作業してください。
- 排気ガスには十分に注意し、換気の良い場所で行ってください。
- 火気を近づけないでください。
- 作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

警告

- 緩めたボルトは、必ずしっかり締めてください。ガソリンが漏れると引火の危険があります。
- こぼれたガソリンは布などで、直ちに拭取ってください。

●燃料の点検・整備

1 燃料タンクのキャップを外し、タンク内の燃料を手動のポンプ等で抜きます。

2 ガソリンコックを右(ON)にします。



3 O部分の斜めについているボルトを緩めて、ガソリンを容器に受けます。キャブレターの燃料を抜くことができます。



4 燃料を抜き終わったら、緩めたボルトは、必ずしっかり締めてください。

点検・整備の仕方

●作動油の点検・整備

【作動油の交換】

作動油は、100 時間毎か、または 1 年に 1 回行ってください。

■作動油交換の手順

- 1 廃油受けを準備します。(18L 以上入るもの)
- 2 作動油タンクの底にあるドレンボルトを緩め、廃油受けに排出させます。
- 3 排出が終わりましたら、ドレンボルトを確実に締めます。
- 4 作動油タンクのオイルキャップを開け、ごみや水分など異物が混入しないように新しい作動油を入れます。



使用作動油	油圧用オイル32番
作動油量	15L(エンジン始動後に 3L 追加) 合計で 18L

【オイルフィルタの洗浄】

オイルフィルタは、100 時間毎か、または 1 年に 1 回行ってください。

■洗浄方法の手順

- 1 作動油の透明ホースを外し、オイル出口のナットを外します。



- 2 オイルフィルタを取り出します。
- 3 灯油などでオイルフィルタに付着したごみを取除きます。
- 4 オイルフィルタを戻し、ナットを締めます。

【作動油の動作温度】

作動油の粘度は、温度が上昇するほど低くなります。温度が上昇し過ぎた場合は、油の潤滑性が悪くなり、劣化を促進したりポンプ効率が悪くなります。作動油の使用温度は +70℃の範囲内でご使用ください。

点検・整備の仕方

●エンジンオイルの給油、点検

【エンジンオイルの交換】

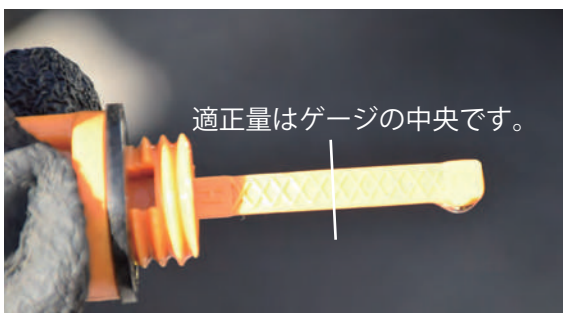
エンジンオイルは、初回 20 時間、以降 50 時間毎に行ってください。

■エンジンオイル交換の手順

- 1 廃油受けを準備します。
- 2 本機を水平な場所で水平な状態にします。
- 3 オイル給油キャップ、ドレンボルトを外してオイルを抜きます。ドレンパイプと一緒に回らないように、パイプを押さえながら、ドレンボルトを回します。



- 4 排出が終わりましたら、ドレンボルトを確実に締めます。
- 5 新しいエンジンオイルをレベルゲージの中央まで入れます。



推奨オイル	・寒冷地は5W-30 ・極寒冷地は10W-30
オイル容量	600ml

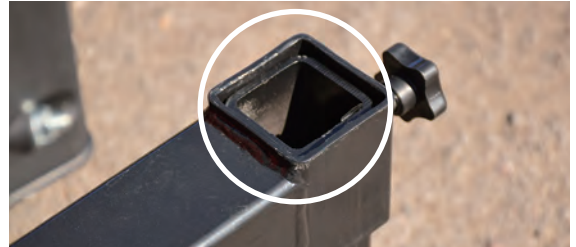
- 6 給油後は、確実にキャップを締めます。

●潤滑油・グリスの塗布

本機の使用後は各部を清掃し、可動部分は、潤滑油やグリスを塗布します。

シリンダやH鋼（ビーム）に付着した木屑等を取除き、潤滑油やグリスを塗布します。

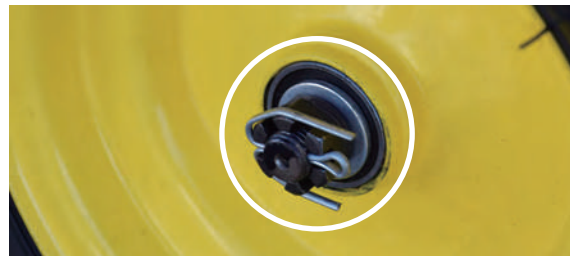
スタンドに潤滑油やグリスを塗布します。



メインスタンドとH鋼（ビーム）の接続部に、潤滑油やグリスを塗布します。



タイヤシャフト部に、潤滑油やグリスを塗布します。



点検・整備の仕方

●エアクリナーの清掃

エアクリナーのフィルタを清掃します。

■清掃手順

- 1 エアクリナーカバーの蝶ネジを外し、カバーを外します。



- 3 エアフィルタの汚れをエアブロー等で吹き飛ばします。
汚れがひどい場合は、エアフィルタの交換が必要になります。



- 4 取外しと反対の手順で取付けます。

●点火プラグの点検・清掃

点火プラグを外し、電極の点検・清掃を行います。

■使用工具

付属のプラグレンチ、ワイヤブラシ

■点検・清掃の仕方

- 1 点火プラグキャップを取外し、点火プラグをプラグレンチで取外します。



- 3 点火プラグをワイヤブラシで清掃します。



隙間は
0.7mm~0.8mmが
適切です。



適応 点火プラグ	F7RTC
	BPR7ES(NGK)
	W22EPR-U(DENSO)

- 4 取外しと反対の手順で取付けます。

長期間使用しないとき

薪割機を長期に渡り使用しないときは、次のお手入れを行ってください。

- 1 保管するときは、平坦で堅い地面に水平に置きタイヤ止めをしてください。
- 2 エンジンキーを抜いてください。
- 3 燃料タンク、キャブレタの燃料を抜きます。
- 4 燃料タンクの口にある、燃料ろ過カップを清掃します。

- 5 バッテリーの手入れをします。
- 6 各部ボルトの破損、腐食、緩みの点検をします。
- 7 防錆、給油を行います。
- 8 湿気やホコリが少なく、子供の手が届かない場所に保管してください。

警告

- エンジンキーを抜き安全を確保し作業を行ってください。
- 作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。

注意

- 作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

故障と思ったら

●エンジンがかからない

症状	原因	対処
点火プラグに火花が出ていない	①始動スイッチボタンの不良	交換
	②スパーク・プラグ不良	交換 (P.40 参照)
	③スパーク・プラグ・キャップ接続不良	調整 (P.40 参照)
	④イグニッションコイルの不良	交換
キャブレターに燃料が来ていない	①燃料がはいっていない	燃料を入れる
	②燃料ホースの詰まり、漏れ	ホース清掃、交換
	③燃料タンク錆びまたは、異物混入による詰まり	交換、フィルタ清掃
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	①キャブレター詰まり (ニードル・バルブ固着)	キャブレター分解掃除
	①オイルの入れすぎ	オイル交換
	②オイルにガソリンが混ざっている	オイル交換

●シリンダが動かない

原因	対処
①駆動シャフトの破損	メーカー、販売店に問い合わせ
②プラグが液圧ホースの中に落下	液圧ホースの片側を外し、プラグを取出し、ホースを戻す。調整
③シリンダボルトの緩み	メーカー、販売店に問い合わせ
④シャフトの位置ずれ	エンジン、ポンプ、シャフトの位置を調整
⑤ギアの損傷	メーカー、販売店に問い合わせ
⑥安全バルブ損傷	メーカー、販売店に問い合わせ
⑦液圧オイルパイプの汚れまたは破損	液圧システムをクリーニング、パイプ交換
⑧液圧オイル不足	オイル補給
⑨方向バルブ損傷	メーカー、販売店に問い合わせ
⑩方向バルブの閉塞	液圧システムクリーニング

故障と思ったら

●シリンダ伸縮スピードが遅い

原因	対処
①ギアの損傷	メーカー、販売店に問い合わせ
②真空ポンプの汚れ	直径太い、長さ短いホースの使用。ホースの清潔
③エンジンスピードが遅い	メーカー、販売店に問い合わせ
④真空ポンプの破損	メーカー、販売店に問い合わせ
⑤オイル不足	オイル補給
⑥オイルの汚れ	オイルタンクを清掃
⑦方向バルブオイルの漏れ	メーカー、販売店に問い合わせ
⑧シリンダー内部の損傷	メーカー、販売店に問い合わせ

●薪割りスピードが遅い

原因	対処
①ギアの損傷	メーカー、販売店に問い合わせ
②真空ポンプの汚れ	直径太い、長さ短いホースの使用。ホースの清潔
③エンジンスピードが遅い	メーカー、販売店に問い合わせ
④真空ポンプの破損	メーカー、販売店に問い合わせ
⑤オイル不足	オイル補給
⑥オイルの汚れ	オイルタンクを清掃
⑦方向バルブオイルの漏れ	メーカー、販売店に問い合わせ
⑧シリンダー内部の損傷	メーカー、販売店に問い合わせ
⑨玉の硬すぎ、または乾燥した玉	定額出力を超えない範囲内での玉の選択 乾燥前の玉の使用

●セルが回らない

原因	対処
①バッテリー上がり	充電
②バッテリー不良	交換
③ヒューズ切れ	交換
④エンジン焼付き	メーカー、販売店に問い合わせ

故障と思ったら

点火プラグの点検 ※機種により、プラグの位置、プラグキャップやリコイルの形状等異なります。ご了承ください。

①プラグキャップを外し、付属のプラグレンチでプラグを外し、先端を確認します。



付属のプラグレンチで反時計回りで外します。振動等で緩まないよう少し固めに締め付けています。

先端が濡れている

先端は濡れていない

②燃料で濡れているため布等でよく拭きます。



③リコイルスターターロープを引いて（15～20回）、プラグ穴から燃料が出てこないか確認し、出てきたらよく拭き取ります。

②外したプラグをキャップに取付けます。



③エンジンストップレバーを握ります。（レバーをロープ等で固定するか、2人で行ってください。）

④プラグ先端をエンジン金属部に当てながら、リコイルスターターを引きます。



火花が出る

火花が出ない

プラグに異常はありません。プラグ先端の濡れは燃料の行き過ぎで起こります。再度エンジンをかけ、確認ください。それでもかからない場合は、他の原因が考えられます。

プラグの不良か他の原因が考えられます。購入先にお問い合わせください。

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

本規約は、ハイガー産業株式会社(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない可能性がございます。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
 - (11) 機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
 - (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
 - (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーペン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
 - (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
 - (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡いただきたく存じます。
またはお近くの修理協力店へご連絡くださいませ。
症状・使用状況を伺い、お手順方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料や水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合がございます。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただく場合がございます。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する場合がございます。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しできない場合がございます。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
- ・無在庫転売(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
 3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料は全てお客様のご負担**となります。

お客様



①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガー産業または販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

故障部品をメーカーで修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。

お客様



①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。
②送料お客様ご負担で故障装置を発送してください。



⑤お見積り提示。
⑧送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

ハイガー産業

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様



①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理^{*1}か、引取り修理^{*2}か、出張修理^{*3}かを相談させていただきます。



⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認
- ④故障装置の修理

*1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。
*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。
*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

■保証適用について■

- ・本商品が対象となります。
- ※ただし、以下の場合は保証適用外となります。
- ・お客様のメンテナンス・確認不足等によるもの。
- ・人為的による破損等。
- ・運送会社など、第三者により生じた支障。
- ・弊社が故意・過失・他、正常のご使用に反して生じたと判断する全ての支障。

■保証期間について■

- ・商品が出荷された日・お渡し（ご来店時）から1年間となります。業務用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。

◎詳細は「保証内容について」ページをご確認ください。

■初期不良について■

- ・初期不良期間は、ご使用回数に関係なく到着日から1週間とさせていただきます。
- ・商品受領後、1週間以内にご連絡ください。
- ※無償修理又は無償交換のいずれかを弊社判断にて、ご対応させていただきます。
- ・修理協力店にご依頼の際は、修理工賃・部品代・送料は当社が負担させていただきます。

■消耗品について■

- ・消耗品につきましては、初期不良以外はすべて有償となります。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。

- お問い合わせ先
ホームページお問い合わせフォーム:<http://www.haigeshop.net/contact>
ハイガー産業お問い合わせ 検索

TEL:0276-55-2275 FAX:0276-55-2276

販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。

販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

オフィシャルサイト▶<http://www.haige.jp/agency.html>

本店サイト▶<http://www.haigeshop.net/new/2015-07-02-113023.html>

楽天サイト▶<http://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/after.html>

ヤフーサイト▶<https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

ハイガー産業 株式会社

〒370-0503 群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3

<http://www.haigeshop.net/>

本取扱説明書を熟読しても、弊社のサイトや動画等を見ても、問題が解決しない場合は、お手数ですが下記までお問い合わせください。その際、迅速なご対応ができるよう「お問い合わせ件名」を必ずお伝えください。
件名：「初期不良」「1年保証内故障」「1年保証外故障」「使用方法」「その他」

お問い合わせ

ホームページお問い合わせフォーム:<http://www.haigeshop.net/contact>

TEL. 0276-55-2275 FAX. 0276-55-2276

※平日12:00～13:00はお電話は繋がりません。

※スタッフ一同、迅速・丁寧な対応を心がけておりますが、季節商品等お問い合わせが集中する時期は、電話が繋がりにくくなったり、折り返し対応や折り返しのご連絡が遅くなる場合がございます。誠に恐れ入りますが、順次対応いたしますのでお待ちいただけますようお願い申し上げます。

お急ぎのご用件でなければ、ホームページお問い合わせフォームよりご連絡をいただけますと幸いです。

FAXは24時間受付けておりますが、営業時間外や弊社休業日にいただいたお問い合わせに関しましては、翌営業日以降に順次対応させていただきます。ご了承ください。

◎営業時間：10:00～17:00(第1・3・5土曜日は12:00まで) ◎定休日：日曜、祝日、第2・4土曜日

